

### 13. 第9次行財政改革に関連する主な取組

項目	大綱の取組項目	取組内容	担当所管	区分	予算額 (千円)	事業 掲載頁
3	自前主義からの脱却	ごみ総合相談センターの粗大ごみ収集受付業務を委託化することにより、人財の効果的な活用を図る。 【正規： 3人、嘱託： 6人】	資源循環部ごみ総合相談センター	歳出	21,935	165
		VDI新基盤(端末のデスクトップの仮想化)を導入し、端末運用管理業務を委託化することにより、人財の効果的な活用を図る。 【正規： 2人】	行財政改革部情報管理課	歳出	32,748	-
8	ICT技術の活用による実施手法の見直し	会議録作成の一部にシステムを導入することにより、会議録作成作業の効率化及び事務負担の軽減を図る。 【作業量： 847時間】	行財政改革部情報管理課	歳出	4,706	72
		職員の給与明細書を電子化することにより、省資源化及び事務の効率化・簡素化を図る。【作業量： 546時間】	総務部労務課	歳出	1,489	56
		ICTを活用した設備を導入した介護施設に成果連動型の補助を行うことにより、高齢者の転倒防止に繋げ、医療費の削減を図る。【医療費削減効果額：2,000千円/件】	福祉部高齢者いきいき課	歳出	4,000	102
11	施設・拠点整備における官民連携	道路照明灯などの灯具の省エネルギー化工事及び維持管理業務を委託することにより、環境負荷の低減と維持管理費(電気料金含む)の削減を図る。 【道路照明灯・園内灯 約15,500基、公衆街路灯 約23,000灯更新】	道路交通部管理課、まちなみ整備部公園課、市民活動推進部協働推進課	歳出	0	74・75・188・189
		清掃工場から発生する焼却灰をエコセメント化施設へ搬入し、建築資材へ再利用するとともに、民間処理施設での焼却灰を資源化することにより、緊急時の搬路確保(リスク分散)及び歳出の削減を図る。【民間処理量：300t増】	資源循環部戸吹クリーンセンター	歳出	9,427	166
14	負担の公平性と歳出に応じた財源確保	資産活用基本方針に基づき、対象資産の売り払いを進めることにより、市の財源確保と維持管理経費の削減を図る。 【売払地：30件】	財務部資産管理課	歳入	91,295	47
		多くの市民が利用する本庁舎1階ロビーに広告付地図情報板を設置することにより、市民の利便性の向上及び財源確保を図る。 【地図情報板：1か所】	財務部庁舎管理課	歳入	1,020	41・49
		緑町霊園合葬式墓地において、合葬室に直接収蔵できる利用方法を新設することにより、市民ニーズへの対応及び財源確保を図る。【利用：50件】	市民部市民生活課	歳入	4,250	-
		富士森公園陸上競技場において、リニューアルオープン(第4種公認陸上競技場)を契機に命名権(ネーミングライツ)を導入することにより、財源確保を図る。【施設：1件】	生涯学習スポーツ部スポーツ施設管理課	歳入	3,000	47
		「がん対策推進計画」に基づき、自己負担額を含むがん検診制度の見直しを行うことにより、受益者負担の適正化と委託料の削減を図る。 【見直し：5項目】	医療保険部成人健診課	歳出	733,588	142・143
16	持続可能性を確保する執行体制	し尿収集業務を委託化するとともに、し尿の効率的な処理(直投化)を行うことにより、効果・効率的なし尿収集・処理体制を構築する。【正規： 3人】【脱水汚泥： 483t】	水循環部水再生施設課	歳出	117,854	167
19	若手職員による「行政事業イノベーションプロジェクト」	自転車等放置禁止区域内の特に放置が多い場所への画像認識カメラの設置と撤去自転車保管所を再編することにより、放置自転車の減少と保管所維持管理経費の縮減を図る。 【保管所： 1か所(一部再編)】	道路交通部交通事業課	歳出	13,079	211
		中心市街地の出先機関においてカーシェアリングを一部導入することにより、本庁舎の公用車確保と駐車場使用料の縮減を図る。【公用車： 2台(本庁舎で活用)】	財務部庁舎管理課	歳出	1,464	-
		「働き方改革」の取組として席を固定しない「フリーアドレス」を試行導入することにより、コミュニケーションの活性化と執務スペースの有効活用、職場環境の改善を図る。【取組：新規6所管】	総務部労務課	歳出	5,317	-

令和2年度(2020年度)の歳出が生じない債務負担行為予算を設定。